

歴博 暮らしの植物苑だより

第10回『日本の植物文化を語る』10月28日(土) 13:30~15:30 本館講堂

「栗の文化・漆の文化—アジアの中の縄文文化」 山田昌久(首都大学東京)

第94回『暮らしの植物苑観察会』11月25日(土) 13:30~ 暮らしの植物苑

「針葉樹のはなし」 斎木健一(千葉県立中央博物館)

暮らしの植物苑今週の見どころ <http://rekihaku.ac.jp>

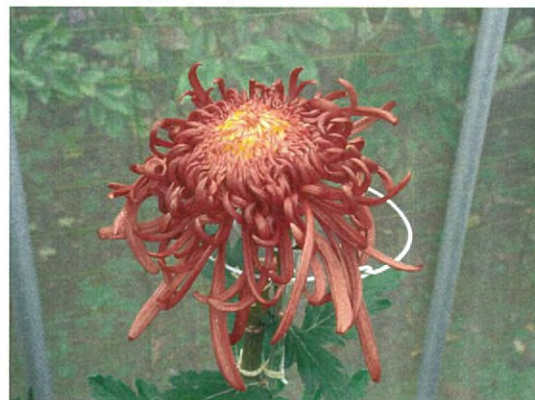
伝統の「古典菊」展示始まる

10月24日伝統の古典菊展がオープンしました。嵯峨菊・伊勢菊・肥後菊・江戸菊の古典菊を始め、奥州菊・丁子菊・玉菊が勢揃いしました。まだ咲き始めですが、しばらくすると色とりどりの古典菊を御覧いただけるとと思います。また28日の午前中には菊苗の有償頒布もいたします。詳しくは伝統の古典菊チラシを御覧下さい

奥州菊が咲き始めています。奥州菊は青森県八戸で品種改良された菊で、掴み咲き、走り弁の強さなど、独特の花をみせられます。



花神輿



極楽殿



愛国殿



栄楽殿

ヤツデ (ウコギ科ヤツデ属)

株立ちになる常緑低木で、日陰でも生育するので裏庭によく植栽されています。葉の形を手にもたて、葉にたくさん切れ込みがあることから八手の名があります。花は球状の散形花序があつまり円錐花序をつくります。写真は咲き始めの円錐花序です。



ゼラニウム (フウロソウ科テンジクアオイ属)

耐寒性のない多年草で、葉は浅い欠刻のある円状心形や腎形ですが、葉に輪紋や覆輪などを表わすことがあり、特にそれらを変わり葉といいます。冬期は葉色が鮮やかで美しい時です。



キチジョウソウ (ユリ科キチジョウソウ属)

常緑の多年草で、根茎はよく分岐し、花は葉に隠れるように咲きます。その咲き方のため花に気がつかず、和名の吉祥草はめったに花をつけることがなく、花をつけたときには吉事があるといわれました。たくさんの花が咲いているので、視線を低くして御覧下さい。



サザンカ (ツバキ科ツバキ属)

古典菊の展示後半から冬の華サザンカ展が始まります。常緑樹で花の少ない冬の時期に開花します。その為にたくさんの園芸品種が作られています。写真は自生種で本州西部・四国・九州に自生しています。枝・葉・子房に毛があること、おしべが筒状にならないこと、花弁とめしべがばらばらに散ることからツバキと区別できます。

